



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	8,249	8.1	1,352	17.5	1,419	22.4	1,006	32.2
30年3月期第3四半期	7,628	13.1	1,150	75.8	1,159	103.9	761	106.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 998百万円 (8.9%) 30年3月期第3四半期 916百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	420.54	
30年3月期第3四半期	318.08	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	12,314	9,439	74.5
30年3月期	11,820	8,628	70.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 9,169百万円 30年3月期 8,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.50		42.50	
31年3月期		35.00			
31年3月期(予想)				45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は75円00銭となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	4.8	1,600	8.5	1,650	5.2	1,200	3.3	501.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	2,400,000 株	30年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	5,789 株	30年3月期	5,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	2,394,225 株	30年3月期3Q	2,394,364 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国では、在庫投資が成長を押し上げたほか、個人消費や設備投資が堅調に推移し、高成長を維持しました。欧州では、輸出環境が厳しさを増したことから、減速傾向となりました。中国をはじめとする新興国では、インフラ投資の減速や、米中貿易戦争の激化で消費が落ち込んだことなどから、経済成長の鈍化が鮮明になり、引き続き減速傾向となりました。

一方、日本経済においては、個人消費は緩やかな持ち直しにとどまりましたが、企業収益が高水準で推移する中での設備投資の堅調な推移などにより、景気は緩やかに回復しております。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門では、ルブリケーターや全自動フロンガス交換機が引き続き堅調に推移し、また、インダストリアル部門でも、主力製品であるダイアフラムポンプを中心に引き続き好調な推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は8,249百万円(前年同期比620百万円、8.1%増)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は2,383百万円(前年同期比246百万円、11.6%増)、インダストリアル部門は4,881百万円(前年同期比379百万円、8.4%増)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は984百万円(前年同期比△5百万円、0.5%減)となりました。

利益面では、売上総利益は3,613百万円(前年同期比335百万円、10.2%増)となり、営業利益は1,352百万円(前年同期比201百万円、17.5%増)、経常利益は1,419百万円(前年同期比259百万円、22.4%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,006百万円(前年同期比245百万円、32.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は4,422百万円(前年同期比355百万円、8.7%増)、営業利益は1,016百万円(前年同期比78百万円、8.3%増)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は2,424百万円(前年同期比218百万円、9.9%増)、営業利益は308百万円(前年同期比58百万円、23.2%増)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は736百万円(前年同期比△79百万円、9.7%減)、営業利益は8百万円(前年同期比△51百万円、85.5%減)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は458百万円(前年同期比89百万円、24.3%増)、営業利益は46百万円(前年同期比29百万円、168.8%増)となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は206百万円(前年同期比35百万円、21.1%増)、営業利益は15百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は4,163百万円(前年同期比276百万円、7.1%増)で、その割合は50.5%(前年同期51.0%、0.5ポイント減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は12,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ493百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加(512百万円)等によるものであります。

負債合計は2,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ317百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定を含めた長期借入金の減少(△131百万円)、未払法人税等の減少(△217百万円)等によるものであります。

純資産合計は9,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ811百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(821百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は74.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,028百万円の純収入(前年同期は727百万円の純収入)となりました。これは主に法人税等の支払額608百万円等の支出要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,428百万円、売上債権の減少235百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは255百万円の純支出(前年同期は77百万円の純支出)となりました。これは主に定期預金の預入による51百万円、有形固定資産の取得による195百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは304百万円の純支出(前年同期は267百万円の純支出)となりました。これは主に長短借入金の借入による347百万円等の収入要因があったものの、長短借入金の返済による468百万円、配当金の支払による178百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、第3四半期業績を勘案し、予想数値を修正いたしました。本日(平成31年2月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,639,469	4,152,208
受取手形及び売掛金	1,870,985	1,642,835
商品及び製品	1,533,135	1,627,681
仕掛品	353,131	391,259
原材料及び貯蔵品	544,856	530,261
その他	105,331	89,975
貸倒引当金	△4,992	△4,028
流動資産合計	8,041,915	8,430,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,417,048	1,373,936
土地	1,188,767	1,189,217
その他(純額)	421,332	599,522
有形固定資産合計	3,027,148	3,162,676
無形固定資産	61,876	89,355
投資その他の資産	689,929	632,062
固定資産合計	3,778,955	3,884,094
資産合計	11,820,870	12,314,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,362,472	1,330,699
短期借入金	100,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	325,840	171,564
未払法人税等	306,089	88,361
賞与引当金	146,087	39,938
未払費用	164,126	184,394
資産除去債務	—	3,480
その他	102,316	229,744
流動負債合計	2,506,931	2,158,182
固定負債		
長期借入金	33,809	56,386
繰延税金負債	196,757	198,415
退職給付に係る負債	310,999	325,784
役員退職慰労引当金	43,099	44,299
資産除去債務	20,628	17,147
長期末払金	32,270	32,270
その他	48,027	42,445
固定負債合計	685,591	716,747
負債合計	3,192,522	2,874,930

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	7,535,040	8,356,357
自己株式	△6,797	△6,855
株主資本合計	8,186,430	9,007,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,595	109,991
為替換算調整勘定	29,025	52,306
その他の包括利益累計額合計	178,620	162,298
非支配株主持分	263,297	269,370
純資産合計	8,628,348	9,439,357
負債純資産合計	11,820,870	12,314,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	7,628,275	8,249,117
売上原価	4,350,600	4,635,950
売上総利益	3,277,674	3,613,167
販売費及び一般管理費	2,127,129	2,260,843
営業利益	1,150,545	1,352,323
営業外収益		
受取利息	819	3,040
受取配当金	10,572	11,622
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	—	33,254
不動産賃貸料	24,270	23,765
その他	7,504	6,381
営業外収益合計	46,835	81,733
営業外費用		
支払利息	1,974	1,478
売上割引	10,894	10,019
為替差損	21,034	—
その他	3,988	3,220
営業外費用合計	37,892	14,718
経常利益	1,159,488	1,419,339
特別利益		
固定資産売却益	776	1,956
投資有価証券売却益	—	7,553
特別利益合計	776	9,510
特別損失		
固定資産処分損	426	225
特別損失合計	426	225
税金等調整前四半期純利益	1,159,838	1,428,623
法人税、住民税及び事業税	405,653	392,262
法人税等調整額	△18,122	21,400
法人税等合計	387,531	413,663
四半期純利益	772,306	1,014,960
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,709	8,091
親会社株主に帰属する四半期純利益	761,597	1,006,868

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	772,306	1,014,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,329	△39,603
為替換算調整勘定	90,034	23,281
その他の包括利益合計	144,364	△16,321
四半期包括利益	916,671	998,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,962	990,546
非支配株主に係る四半期包括利益	10,709	8,091

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,159,838	1,428,623
減価償却費	184,297	170,316
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
固定資産売却損益(△は益)	△350	△1,731
受取利息及び受取配当金	△11,391	△14,663
支払利息	1,974	1,478
売上債権の増減額(△は増加)	130,372	235,520
たな卸資産の増減額(△は増加)	△386,829	△101,580
仕入債務の増減額(△は減少)	70,830	△68,190
その他	△103,125	△22,116
小計	1,041,946	1,623,989
利息及び配当金の受取額	11,391	14,663
利息の支払額	△1,866	△1,546
法人税等の支払額	△323,977	△608,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	727,495	1,028,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,003	△51,003
定期預金の払戻による収入	1,001	1,501
有形固定資産の取得による支出	△87,062	△195,549
有形固定資産の売却による収入	776	2,020
投資有価証券の取得による支出	△2,301	△1,818
投資有価証券の売却による収入	—	8,924
投資不動産の賃貸による収入	24,270	23,765
その他	△12,921	△42,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,241	△255,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	145,024	147,000
短期借入金の返済による支出	△143,076	△137,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△105,735	△331,699
配当金の支払額	△160,016	△178,354
非支配株主への配当金の支払額	△2,018	△2,018
その他	△2,122	△2,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267,945	△304,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,955	△6,075
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	405,263	463,237
現金及び現金同等物の期首残高	2,824,961	3,608,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,230,225	4,071,978

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	4,066,577	2,206,244	816,063	369,143	170,245	7,628,275
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,189,277	70,053	8,427	—	—	2,267,758
計	6,255,855	2,276,298	824,490	369,143	170,245	9,896,034
セグメント利益又は損失(△)	937,981	250,733	60,125	17,399	△3,697	1,262,543

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,262,543
セグメント間取引消去	48,502
棚卸資産の調整額	△160,500
四半期連結損益計算書の営業利益	1,150,545

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	4,422,330	2,424,905	736,954	458,702	206,223	8,249,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,188,085	70,499	14,635	4,006	—	2,277,227
計	6,610,416	2,495,405	751,589	462,709	206,223	10,526,344
セグメント利益	1,016,266	308,959	8,694	46,777	15,044	1,395,743

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395,743
セグメント間取引消去	△18,315
棚卸資産の調整額	△25,104
四半期連結損益計算書の営業利益	1,352,323